

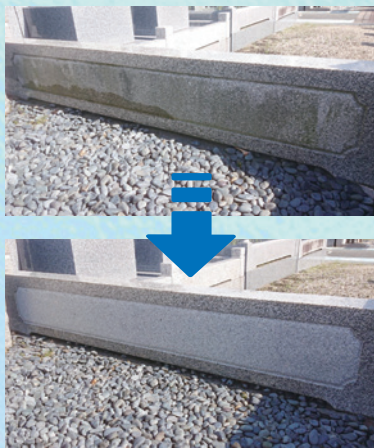
TO NEWS

life with sTone
～ 石の温もりを、暮らしの中に ～

みなさんこんにちは！ コロナウィルスも次々に変異し、オミクロンBA.5株が国内で猛威を振るい、第7波のピークを迎えようとしております。ウィルスも生存戦略として自然界の環境に適応するために変化し続けております。石材業界においても環境変化の中でどのように進化していくことが良いのか、問われてきています。予測される未来に向けて、また進歩発展に貢献できるようTO.NEWSは今号もお届けします。

TOPIC 1

STONEレスキュー110



今回のレスキュー事案は、青御影石 (AGE アメリカ産石材) 外柵の水垢除去です。建立から30年以上経過し付着した頑固な水垢を除去したいとの事案です。加えて作業現場は洗浄污水の回収が難しいところでした。

このような場合には、環境にやさしい有機酸を使用したストーンマジックがおすすめです。

使用法は簡単でスプレー噴霧、ブラシ (茶パッド) 等でブラッシング、水洗浄となります。ストーンマジックは自然由来の有機酸を使用しておりますので、洗浄後の洗浄污水を回収することなく、地中へ流すことが可能です。

石材洗浄剤の種類によっては、比較的強い成分が含まれている場合があり、洗浄污水をそのまま地中へ流すと土壌汚染など周囲の環境に影響を与えてしまうことがあります。そのため洗浄污水を回収することが必要となりますので、必ず洗浄剤の取扱説明書をご確認頂いてからご使用ください。

今回の作業動画はこちらのQRコード (右記) よりご覧ください。



ストーンマジック

TOPIC 2

石材補修ボクにもできた！ インド黒編

大好評なボクにもできたシリーズの3回目は黒御影石 (インド黒) の欠け補修です。色が黒だから単調に黒色で簡単に出来るだろうなあと考えていましたが、思いのほか基板の黒色と同じ色にするのに大変苦労しました (クロだけに)。

今回は補修剤の彩ⅢとAKEMIプラチナム2種類でそれぞれながら補修してみました。

★彩Ⅲでは黒色のエポキシパテと黒色着色剤のみ使用

欠損部にパテを充填し、硬化後にスクレーパーで形成。その上から黒色着色剤を塗布して完成です。下地がしっかりした黒色になるので、黒色の着色剤も比較的のりやすいです。



★AKEMIプラチナムは黒色のペーストで着色したままでは、黒色をうまく着色出来ませんでした。少し工夫が必要です (右写真)。

黒色は簡単そうで難しく、単調な色ほど合わせるのが難しいことがよくわかりました。

次号では黒色の補修で、もっと工夫をしながら一番のオススメを探ってみたいと思います。



彩Ⅲ



AKEMIプラチナム



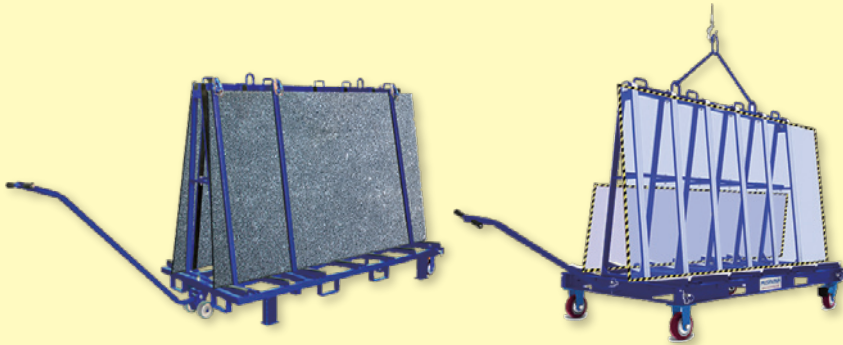
エポキシパテ (黒) と黒色着色剤

TOPIC 3

WORLD TOPIC 「ONE STOP A-FRAME」

サイズの大きなセラミックスラブ材(板材)の使用が、最近大きく増えてきました。大きなスラブ材の保管には、立てかけて保管することができる、Aフレームと呼ばれるスタンドがお薦めです。

今回ご紹介する**ONE STOP A-FRAME**はただスラブ材を立てかけて保管するだけでなく、フレーム自体に吊り上げの金具や、フォークリフト用差し込み口、また車輪が付属していますのでフレームごと動かすことができ、一度に数枚のスラブ材を移動させることも可能です。サイズも様々なございますので、お問い合わせください。



TOPIC 4

今、リペア(補修)が熱い！ リフォーム産業フェア出展報告



7月26日(火)・27日(水)に東京国際展示場にて**リフォーム産業フェア2022**が開催され当社も出展いたしました。当展示会は日本最大規模のリフォームのプロ向けの展示会です。

昨今の人造大理石やセラミックタイルによる床、壁、カウンター市場の拡大を受け、今後増えると思われるリペアへの関心が非常に高く、リペアの方法や専門道具の使用法などについて数多くのお問合せを頂きました。この紙面を借りて改めて

今後ますます熱くなっていくこのリペア市場に向けて、今回の展示会にて初お披露目しました「AKEMI補修キット」は改めてTO.NEWS内にてご紹介させていただきますのでご期待ください。



AKEMI補修キット

TOPIC 5

石にも熱中症対策?? ■■■■■■■■■■

石材の接着やシールに使用される石材用1液性弾性接着剤ですが、夏場は硬化速度が速いと指摘されます。代表的なボンドストーンコークRの可使時間は10分(23℃)です。これは23℃の使用環境温度時には、10分以内であれば、接着または成型(シールなど)が可能であるとの意味です。可使時間を超えると表面が固まり始め、成型がしにくくなります。夏場の炎天下による現場などは、40℃を超えることもあります。そうなると可使時間前でも硬化が一気に促進され、素早い施工が必要となります。

このような問題の対応策としてボンド自体を冷やすと硬化速度が遅くなるのではないかと
いう考えも出てきます。検証してみますとボンドを冷やすことで硬化時間は事実遅くなりました
が、実際には問題があります。1液性の弾性接着剤は湿気と反応して硬化します。ボンドを冷や
した状態から一気に温度が上がると結露が発生します。この結露がボンドの硬化不良を招く恐
れがありますので、一液性のボンドを冷やすことはあまりお勧めいたしません。

現段階での夏場の対応策としては朝夕の比較的涼しい状況での施工、または石自体を炎天下ではそのまま放置せず日陰や耐熱布などで覆うことで、多少の効果を得ることが出来ます。施工する職人さんと石の熱中症対策としてもなるべく人工的に日陰を作りながらの作業をお勧め致します。



藤栄株式会社

大阪本社 〒578-0944 大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
 東部営業所 〒327-0817 栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<http://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEI ドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jp へ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。(右側のQRコードで、上記のメールが開きます)

